

令和6年度 実践研究事業
(そにっとキャンプ・冒険のキャンプ)

- [主 催] 国立曽爾青少年自然の家
- [後 援] 奈良県教育委員会、名張市教育委員会、
宇陀市教育委員会
- [期 日] 令和6年8月10日(土)～8月12日(月)
- [対象者] 発達に特性がある児童生徒や不登校など集団(学
校)生活に困り感のある小学校4年生～中学校1年
生の児童生徒
- [参加/募集] 児童12名／12名
- [担 当] 三木智拵(主任企画指導専門職)・坂本純一・森岡亮平(企画指導専門職)、大向満
(主幹兼事業推進係長)・百田恵美(看護師)



1 趣 旨

「ふるさとの夏休み」を満喫しよう、ひとりではできないチャレンジに一步踏み出そう、「なかま」との48時間を心のままに楽しもう、というめあてのもと、自然の家を離れ、曽爾村ならではの様々な体験をし、御杖村の公民館に宿泊。翌日は、三峰山登山。三日目には、自己決定の機会などの体験活動を実施。ふるさとならではの夏休みを体験し、ひとりではないからこそできるチャレンジを経験することで、楽しみながらも挑戦し、なかま感覚を味わうキャンプを計画した。

2 ねらい

- ① 「ふるさとの夏休み」を全身で楽しむ。
- ② ひとりではできない本格的な登山を経て「なかま」感覚を育み、自分の精一杯に挑戦する。
- ③ 自己選択・決定の体験をし、自分で決める心地よさを体験する。

3 プログラム展開

8/10 (土)	10:30	11:00	11:45	13:00	14:30	17:00	18:30	20:30	21:30	
	受付	始まりの会	昼食	農業体験	プール遊び	クラフト	夕食	振り返り	就寝(公民館泊)	
8/11 (日)	6:00	7:30	8:30	14:30	13:00	15:00	17:30	18:50	20:00	20:30
	起床	朝食	三峰山登山		川遊び	川涼み	夕食	入浴	振り返り	就寝
8/12 (月)	6:30	9:00	10:30	11:00	11:30	12:00				
	起床	選択プログ ラム	ふり返り	保護者懇 談	おわりの会	解散				

4 活動の様子



5 まとめ(子どものアンケート・担当者の所感)

- ・ アンケートからは、「曽爾のスタッフになることが夢になり楽しみ」、「わくわくがいっぱいだから、内容は難しくなかった」、「自分自身が進化していてびっくりした」などの言葉が見られた。
- ・ 子どもそれぞれに、登山を完登できた達成感やボランティアの支えの中で、登山の辛さ以上に、「なかま」と共に過ごす喜びが優るもの、苦手意識のあった登山に対して肯定的に捉えなおす感想などが印象的であった。